

『事務局通信』第19号

平成30年9月18日発行
発行者 熊本県里親協議会 会長 岩見照也
編集責任者 事務局長 宮津美光

協議会事務局では里親同士、里親と児童相談所または里親と地域社会を『つなぐ』をテーマに事務局通信を発行しています。

私たち里親自身が里親のために取材をし、分かりやすく編集してまいります。

お知らせ1 里親による虐待・調査発表(平成28年度) 全里マンスリー9月号より転記

厚生労働省から「平成28年度における被措置児童等虐待への各都道府県市の対応状況について」が発表になりました。

それによると、平成28年度の被措置児童への虐待は、通告受理件数の総件数は255件。そのうち虐待の事実が認められたのは87件でした(里親・ファミリーホームは13件・14.9%)。

里親による虐待の具体的なケースは下記の通りです。

- ・食事中の児童を注意した際、児童の頭を拳骨で一度殴った。
- ・児童の臀部を1~2回強く叩き、痣ができた。
- ・児童の頬を叩いたり、居室に閉じこめることが日常的に行われていた。
- ・児童を叩いたり蹴ったりということが日常的にあった。
- ・床を見ていた児童の後頭部を手で押して床に1回当てた。
- ・同居人により、児童のズボンを脱がす、胸を触る、バットで背中を殴るなどの行為があり、児童が里親に訴えたが里親の対応は変わらなかった。
- ・児童から返事がなかったり謝らないことにいらだち、怒鳴ったり、外に出したりした。
- ・同居人が児童に不適切な身体接触を行った。

これらへの対策として、研修や支援体制を充実させるほか、里親認定時に同居人の調査を行うなどとしています。被措置児童等への虐待についてはご存知と思いますが、児童福祉法第33条10各号に定めがあり、里親会などでもう一度確認し、被措置児童への虐待防止の徹底をお願いします。

お知らせ2 10月は里親月間です

10月の里親月間には各地でさまざまなイベ

ントなどが予定されています。今年も熊本県里親協議会はハートのチラシを配布する活動に取り組みます。ボランティアを募集中です。具体的内容が決まり次第ご案内します。声掛け等ありましたら協力をお願いします。

お知らせ3 9月12日 熊本市支部では熊本市児相との交流会議が行われました。

熊本市支部では支部理事8名と熊本市児童相談所担当者(所長含む)4名、計12名で交流話し合いが行われました。

里親が抱える多くの課題などについて検討される前向きな会議となりました。

お知らせ4 平成30年度 九州地区里親研修大会の案内がきています

開催日：12月1(土)~2(日)

会場：リーガロイヤルホテル小倉

北九州市小倉北区浅野2-14-2

参加された里親も里子も満足な内容となっています。参加を希望される方は事務局へ問い合わせをお願いします。申し込み締め切りは10月12日となっています。

お知らせ5 地区交流会が活発化!

ファミリーホーム部会交流会

9月19日(水) 八代児童相談所において

中央支部 天草地区交流会

9月20日(木) 天草市本渡町で計画

熊本市支部 小さな勉強会 in 中央区

10月17日(水) 10:00~12:00

中央区まちづくりセンター(大江公民館) B会議室
テーマ「発達障害を考える」

お知らせ6 九州ブロックファミリーホーム協議会研修会

ファミリーホームの九州ブロック協議会研修会が以下の日程で行われます。

11月12日(月)~13日(火) 佐賀市メートプラザ
研究会テーマ

「ファミリーホームにおける、よりよい支援を目指して」



「心温まるエピソード」投稿募集

里親家庭では子どもとの新たな出会いから始まる日常生活の中で、さまざまなエピソードがあります。そんな出来事の中から、心温まる出来事を募集します。思い出の絵や作文、写真どのようなものでも結構です。

すべては子ども達の幸せを願って
「里子の旅立ちを前に」 北御門たえ子

ロシアの文豪・トルストイの描いた作品に「人は何で生きるか」という民話があります。

神様の命令に背いた天使が人間になり、人の中に何かがあるのか、人に与えられていないものは何か、人は何によって生きるか、その答えを見つけるといってお話です。

父親を森の事故で亡くし、母親を病気で亡くした生後間もない双子の女の子は、六年後、やさしい里親に連れられて天使の前に現れます。親がなくても幸せに立派に育っている女の子達を見て、人の中に愛があり、それによって親がいなくても子どもたちは育つことができることを発見するのです。

さて、十年前、我が家へ八歳でやってきたR君は、フワッとした夢見る少年でした。小さな村の小さな小学校・中学校で、友達や先生、地域の色々な方々に温かく見守られ、少しずつ成長してきました。学校での決まり事を守れず、親子共々学校で注意を受けたことも一度や二度ではありませんでした。その度に家族会議を開き、改めて自分の考えを見つめることにしました。

それでも夢を見続けてきた少年は「大学へ進み、得意の英語力を伸ばし、それを生かして人の役に立つ仕事をしたい」と高校進学後後半になって懸命に勉学に励み、夢の実現まであと一歩！というところまでやって来ました。実は、彼の大学進学という夢の実現には里親支援専門相談員の先生方からの多くのお力添えがあったからこそ、なのです。お陰様で日本財団の「夢の奨学金」を受けることが出来そうです。

幸運なR君。この幸運があなたの力となりすばらしい未来を拓いていってくださいように。この十年間が私たち家族にとっても大きな宝物であることは間違いありません。

誠に「愛あるところに神あり、人あり」です。



北海道の地震災害について

9月6日(木)未明に発生した「北海道胆振東部地震」は、最大震度7の規模で、胆振地域を中心に周辺地域に土砂崩れ、液状化現象、家屋倒壊、断水、全道の停電など想像もつかない程の未曾有の被害をもたらしました。

北海道は今年度のブロック里親研究大会を中止され、里親家庭の被害の実態調査に取り組みられています。

熊本地震の折には全国里親会から義援金などが寄せられ、勇気づけられた里親もありました。私たちにできる支援を検討していきたいと思えます。

10月4日は里親デー



「里親カフェ」毎月第一水曜日

協議会事務所は、気軽に立ち寄っていただけるような場所になればいいと考えて、月イチで里親カフェをオープンしています。予約不要。時間が空いたらどうぞお立ち寄りください。お子さん同伴歓迎(綿あめ作り、ポップコーン作り、アイスクリーム作り体験は無料)

飲み物(コーヒー、紅茶、その他)100円
10月3日(第一水曜日)13:30~16:00
事務所 熊本市東区戸島町 1177-3

すべては子どもたちの幸せを願って!

温かいご支援ありがとうございます

〈賛助会員入会〉年間5千円

社会福祉法人 みどり園 理事長 篠崎鐵男 様

〈支援企業・支援団体〉年間5万円(1口)

〇ふるさと元気ドレッシング工場

〈熊本県里親協議会 事務局〉

事務局長 宮津美光

事務所 861-8031 熊本市東区戸島町 1177-3

電話(Fax 同番) 096-380-4666

携帯 080-5250-4666

Eメール pygkb624@yahoo.co.jp



熊本県里親協議会

